

第三章 21) モーロ・アグードス駅 (オルランジア市から西に約30Km)

*岡野健、1933年4月、アリゾナ丸、茨城県水海道市坂手町出身、モジアナ線クルゼイロ耕地で就労後、モーロ・アグードス耕地に移り米作に従事、一貫してモーロ・アグードス市に在住する。後年綿作害虫防除技術普及に於いて1968年山本喜誉司賞受賞する。

*木村西之助、1933年4月、アリゾナ丸、茨城県丸多賀郡檜形村出身、同駅付近に配耕された。後年パラナ州トレスバラス移住地に入植。(「つくばね第13号」名簿15ページ)

*北村正雄、妻紀子、1933年4月アリゾナ丸、茨城県久慈郡水府村下高倉出身、同駅付近に配耕された。(「つくばね第13号」15ページ)

*上田唯一、1935年1月アフリカ丸、愛媛県温泉郡落原村出身、同駅サンタ・エレーナ耕地で義務農年遂行後、クラビーニョス耕地で綿作に従事、その後パラナ州トレスバラス移住地に入植する。(「トレスバラス移住地開拓20周年史」317ページ)



モーロ・アグード駅

22) グァナバラ耕地 (ジャルジノポリス駅)

*緒方メ吉、1914年5月、帝国丸(第10回移民)(「平野25周年史」)

*中山亀一、1914年5月、福岡県田川郡出身、配耕転じてカタンツーバに於いてコーヒー園就労7年、後年パラナ州カンポ・モロン在住。(「ブラジル日系紳士録」856ページ)

*北口頼男、1919年7月、鎌倉丸、和歌山県和歌山市出身、ジャルジノポリス市郊外就労、転々と移り、プ・

ブルデンテ市郊外で商業に従事。（「ブラジル日系紳士録」 644 ページ）

＊水本光任、1929 年 6 月、博多丸、熊本県下益城町南郡海東海東出身、同駅サン・ジョン耕地で義務農年終了後、サン・パウロ市郊外のサント・アマーロに農地を求め、原始林の開拓で伐採した樹木を原料に木炭製造を始める。1934 年聖市内ブラッサ・ジョン・メンデス付近で九州旅館を開業した。後、法律事務所、サンパウロ新聞の発行等である。（「熊本県人発展史」 936 ページ）

＊河嶋政春、1934 年 5 月、アリゾナ丸、京都府与謝郡出身、配耕雑作に従事さらにサン・マルチニョに移転綿作、後年ジャーレス在住。（「ブラジル日系紳士録」 707 ページ）

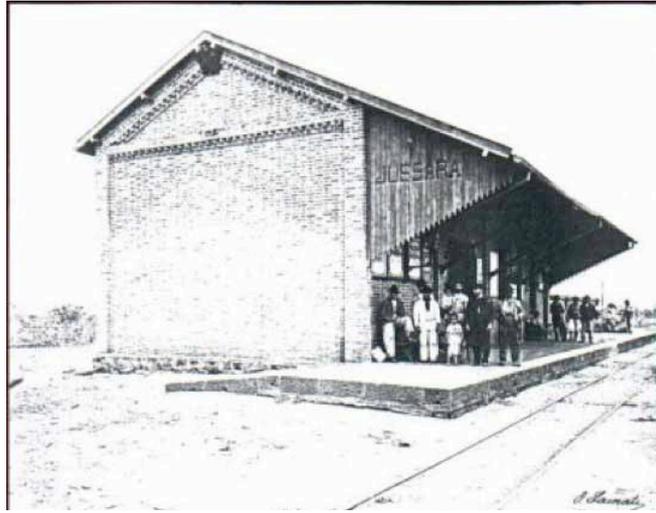


グアナバラ耕地 ジャルジノポリス駅

23) バレトス耕地 (ジュサラ駅)

＊原正春、1913 年福岡県三井郡、父に伴なわれて姉春子 7 歳、本人 4 歳。4 ヶ年就労中に姉春子不慮の死、てんと流浪中、父九蔵腸チブスで 44 歳で死亡する。

＊新妻芳朗、1935 年 1 月、リオ・デ・ジャネイロ丸、福島県双葉郡出身、ジュサラに入耕、転じてモジ市郊外コクエーラに移転、養鶏、果樹等営農。（「ブラジル日系紳士録」 368 ページ）



バレットス耕地・サンタ・ジュールセ耕地 ジュサラ駅

24) サンタ・ジュール耕地 (ジュサラ駅)

*原正直、1930年3月、備後丸、兵庫県三原郡阿那賀村出身、同駅サンタ・ジュール耕地に就労すること3ヶ年。8年間モジアナ線で働くが恵まれず、後年トレスバラス移住地パイネーラ区に入植する。
(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 669 ページ)

*尾形末蔵、1935年3月、アリゾナ丸、山形県東村山郡出身、同耕地で就労3ヶ月、後年パラナ州トレスバラス移住地サン・ジョン区に入植。(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」)

*市川吉郎、1935年3月、アリゾナ丸、山形県東村山郡出身、同耕地に3ヶ年就労後、パラナ州ロンドリーナ郊外でコーヒー請負栽培4ヶ年、後年トレスバラス移住地サン・ジョン区に農地を購入する。
(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 695 ページ)

*秋葉勘七、1935年3月、アリゾナ丸、山形県東村山郡明治村出身、同耕地で1ヶ年の義務農年終了後、同耕地でコーヒー歩合作2ヶ年、以後パラナ州に移転、後年トレスバラス移住地サ・ジョン区に到着く。
(「トレスバラス移住地開拓 20 周年史」 693 ページ)